

呉市地域公共交通網形成計画における評価指標について

資料3

呉市地域公共交通網形成計画の達成状況を評価するために設定した評価指標について、実績値と達成状況は以下のとおりです。

なお、令和4年度においても引き続き、コロナ禍により、全体的に達成できていない指標が多く、特に利用者数に関連する指標(指標番号1・2・5・6)は目標値を大きく下回っています。利用者数については、回復傾向にあるものの、コロナ禍前の状況までの早期の回復は難しいと考えています。

また、利用者数以外の指標についても、コロナ禍の影響により達成できていない指標がありますが、引き続き、計画期間中の達成に向けて取り組みます。

- 【達成状況基準】
- ：達成できた。
 - △：達成できていないが、取組実績はある。
 - ×：未達成(大幅な減少)もしくは未実施。

指標 番号	評価指標	目標値 (令和6年度)	評価サイクル	現状値 (平成30年度)	令和4年度			達成状況が△又は×の要因	達成に向けた今後の方向性	
					実績	増減率	達成状況			
1	公共交通利用者数 (鉄道・路線バス)	現状維持(※1)	毎年度	JR呉線:896万人	JR呉線:771万人	-14.0%	×	コロナ禍の影響による利用者数の減少	モビリティ・マネジメントなどにより、利用者増に向けた取組を引き続き実施することで、目標達成を目指す。	
		現状維持(※1)		広電バス:783万人	広電バス:496万人(※2)	-36.6%	×			
2	公共交通利用者数 (生活交通・航路)	現状維持(※1)	毎年度	生活バス・乗合タクシー:48万人	生活バス・乗合タクシー:89万人	85.4%	○			
		令和元年10月及び令和4年10月移管分除く:37万人(※3)			-22.9%	×				
		現状維持(※1)		航路:8.7万人	航路:6.5万人	-25.3%	×			
3	公共交通に対する満足度 (市民意識調査)	満足度の向上	5年ごと	-0.2ポイント	-0.297ポイント	-	-			
4	公共交通を含む移動確保に対する呉市の負担額 (高齢者・障害者等へのバス運賃助成、スクールバス運行委託、タクシー助成等含む)	現状以下	毎年度	1,264,897千円	1,603,325千円	26.8%	×	コロナ禍の影響により、利用者が大幅に減ったことによる収入の減少	モビリティ・マネジメントなどにより、利用者増に向けた取組を引き続き実施することで、目標達成を目指す。	
5	地域内交通の1便当たりの平均利用者数 (生活バス・乗合タクシー)	現状維持(※1)	毎年度	8.1人／便	5.7人／便	-29.6%	×	コロナ禍の影響による利用者数の減少	・モビリティ・マネジメントなどにより、利用者増に向けた取組を引き続き実施することで、目標達成を目指す。	
					6.7人／便 (令和元年10月及び令和4年10月移管分除く)(※3)	-17.3%	×			
6	地域内人口一人当たりの地域内交通の年間利用回数 (生活バス・乗合タクシー)	現状維持	毎年度	3.34回／人・年	3.09回／人・年	-7.5%	×			・引き続き、利用実態に応じた便数の適正化に取り組み、目標達成を目指す。
					3.02回／人・年 (令和元年10月及び令和4年10月移管分除く)(※3)	-9.6%	×			
7	新たな移動手段の検討又は既存の移動手段の改善検討の数	1件／年 延べ5件以上	毎年度	-	4件／年(延べ11件)	-	○			
8	バスロケーションシステムに対応した表示器設置数	5ヶ所以上増設 合計11ヶ所以上	毎年度	6ヶ所	0ヶ所(合計8ヶ所)	-	×	生活バス車両の通信機器の未設置	広電バスと生活バスの乗継バス停への表示器導入に向けて取り組む。	
9	交通結節点・乗継拠点等における利用環境の改善数	1件／年 延べ5件	毎年度	1件／年	0件／年(延べ3件)	-	×	上屋・ベンチ等の整備に係る予算措置がなされなかった。	設置に係る民間協力等の仕組みによる環境整備の研究を行う。	
10	生活バスのバリアフリー率 (ノンステップバス導入率)	70%以上	年度ごと	43%	62%	-	△	計画的な車両更新に取り組んでいるものの、目標達成には至らなかった。	計画的な車両更新により、令和6年度における目標達成を目指す。	
11	モビリティ・マネジメントの実施件数 (学校行事等での乗り方教室)	10件／年 延べ50件以上	施策実施した年度ごと	8件／年	11件／年(延べ28件)	-	○			
12	関係者との協働・連携による取組の実施件数 (エコ通勤イベント、待合環境整備等)	3件／年 延べ15件以上	毎年度	3件／年	1件／年(延べ4件)	-	△	安浦地区生活バスのデマンド運行の改善検討のみで、目標達成にはいたらなかった。	利用促進につながる取組の実現に向け、引き続き、関係者との連携を図る。	
【参考】人口減少率(対平成30年度)				-	-7.0%(△約15,600人)					

(※1)人口減少率の範囲内における利用者の減少は、現状維持とみなします。

(※2)指標1の広電バスの利用実績は、令和元年10月及び令和4年10月に呉市生活バスへ路線移管があったため、11路線から8路線に減少した実績となっています。

(※3)指標2、指標5及び指標6の生活バスの利用実績は、令和元年10月及び令和4年10月に広島電鉄株式会社からの路線移管があったため、上段には全体実績、下段には移管分(9路線)を除いた実績を併記しています。

第8章 計画の達成状況の評価

1 評価指標と目標値

全体的な目標

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標1 公共交通利用者数 （鉄道・路線バス）	J R 呉線：896万人 広電バス：783万人	現状維持 ※
<u>指標の算定方法</u> 交通事業者から利用実績の報告を基に集計し、把握します。		
<u>評価サイクル</u> 毎年度		
<u>目標値の考え方</u> 人口減少による利用者の減少が予想される中、移動ニーズに合わせた交通網への再編や利用促進策等を通じて、公共交通利用者数の減少を人口減少率の範囲内に抑制し、利用者数を維持することを目標とします。		
※人口減少率の範囲内における利用者の減少は、現状維持とみなします。		

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標2 公共交通利用者数 （生活交通・航路）	生活バス・乗合タクシー：48万人 航路：8.7万人	現状維持 ※
<u>指標の算定方法</u> 交通事業者から利用実績の報告を基に集計し、把握します。		
<u>評価サイクル</u> 毎年度		
<u>目標値の考え方</u> 人口減少による利用者の減少が予想される中、移動ニーズに合わせた交通網への再編や利用促進策等を通じて、公共交通利用者数の減少を人口減少率の範囲内に抑制し、利用者数を維持することを目標とします。		
※人口減少率の範囲内における利用者の減少は、現状維持とみなします。		

本計画の基本方針を実現するため、計画期間中に達成すべき目標の評価指標及び目標値を以下のとおり設定します。

目標1 まちづくりと一体となった効率的な公共交通ネットワークの形成

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標3 公共交通に対する満足度 （市民意識調査）	－0.2ポイント	満足度の向上

指標の算定方法

呉市が概ね5年ごとに実施している呉市市民意識調査で、公共交通の満足度を把握します。

評価サイクル

5年ごと（直近調査：平成26年度）

目標値の考え方

公共交通に対する満足度が向上することを目標とします。

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標4 公共交通を含む移動確保に対する呉市の負担額 （高齢者・障害者等へのバス運賃助成，スクールバス運行委託，タクシー助成等含む）	【平成30年度決算額】 1,264,897千円	現状以下

指標の算定方法

市が公共交通に関する呉市の負担の実績値を整理します。

評価サイクル

毎年度

目標値の考え方

人口減少等により，利用者が減少し，公共交通を含む移動確保に対する呉市の負担額の増加が予想される中，利用者数の維持，運行の効率化等を行い，呉市の負担額を現状以下とすることを目標とします。

目標2 地域の実情に応じた移動手段の確保

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標5 地域内交通の一便当たりの平均利用者数	8.1人／便	現状維持 ※
<u>指標の算定方法</u> 交通事業者からの利用実績の報告を基に、集計し、把握します。 <u>評価サイクル</u> 毎年度 <u>目標値の考え方</u> 人口減少による利用者の減少が予想される中、運行改善、利用促進等を行い、一便当たりの利用者数を維持することを目標とします。 ※人口減少率の範囲内における利用者の減少は、現状維持とみなします。		

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標6 地区内人口一人当たりの地域内交通の年間利用回数	3.34回／人・年	現状維持
<u>指標の算定方法</u> 地域内交通（生活バス、乗合タクシー）の運行地区のみを対象として、地区の一人当たりの公共交通の年間利用回数を把握します。 <u>評価サイクル</u> 毎年度 <u>目標値の考え方</u> 施策実施により、地区内の一人当たりの地域内交通の年間利用回数が維持されることを目標とします。		

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標7 新たな移動手段の検討または既存の移動手段の改善検討の数	—	1件／年 延べ5件以上
<u>指標の算定方法</u> 数値を把握し、整理します。 <u>評価サイクル</u> 毎年度 <u>目標値の考え方</u> 既存のサービスが非効率となっている路線を中心に、各年度1路線以上の見直しの検討を行う目標とし、延べ5路線を目標とします。		

目標3 誰もが利用しやすい公共交通環境の充実

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標8 バスロケーションシステムに対応した表示器設置数	6ヶ所 （平成26～30年度）	5ヶ所以上増設 合計11ヶ所以上
<u>指標の算定方法</u> バスロケーションシステムに対応した表示器の設置数を把握し、整理します。 <u>評価サイクル</u> 毎年度 <u>目標値の考え方</u> バスロケーションシステムに対応した表示器を増設することで、公共交通の利用環境の向上を図ることを目標とします。		

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標9 交通結節点・乗継拠点等における利用環境の改善数	1件／年	1件／年 延べ5件
<u>指標の算定方法</u> 数値を把握し、整理します。 <u>評価サイクル</u> 毎年度 <u>目標値の考え方</u> 交通結節点として設定する呉駅、新広駅、昭和市民センター周辺、鍋栈橋、乗継拠点等における利用環境の改善を年間1件、延べ5件を目標とします。		

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標10 生活バスのバリアフリー率	43%	70%以上
<u>指標の算定方法</u> 呉市生活バスで使用するバス車両のうちノンステップバス車両が占める割合 <u>評価サイクル</u> 年度ごと <u>目標値の考え方</u> 国が「移動等円滑化の促進に関する基本方針」において定める、ノンステップバス導入率（目標値70%）に基づき設定		

目標4 公共交通に関する意識の醸成

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標11 モビリティ・マネジメントの実施件数	8件／年	10件／年 延べ50件以上
<u>指標の算定方法</u> モビリティ・マネジメントを実施した件数を市が把握し、整理します。 <u>評価サイクル</u> 施策実施した年度ごと <u>目標値の考え方</u> 市民の公共交通の利用意向・満足度を向上させるため、学校行事等においてバスの乗り方教室を年間10件程度実施することを目標とします。		

評価指標	現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
指標12 関係者との協働・連携による取組の実施件数	3件／年	3件／年 延べ15件以上
<u>指標の算定方法</u> 呉市が数値を把握し、整理します。 <u>評価サイクル</u> 毎年度 <u>目標値の考え方</u> エコ通勤イベント、待合環境整備など、交通事業者、呉市、市民、商工団体や観光施設等と連携した取組を年間3件、延べ15件以上の実施を目指します。		